

視察研修会を実施しました！！

令和8年3月6日、福島県の「石炭・化石館(ほるる)」及び「東京電力廃炉資料館」の視察研修を行いました。参加者18名。

石炭・化石館は、常磐炭鉱の歴史といわき市の地層から当時高校生によって発見された恐竜(クビナガリュウ)の化石等が展示されている。

常磐炭鉱は、本州最大規模の炭田で1853年に石炭層が発見され、その後、首都圏に近いことからわかりに注目され、1897年には、輸送を目的として常磐線が施設され、わが国の近代化の礎となった。

東京電力廃炉資料館は、15年前の東日本大震災発生時の原子炉建屋の爆発、現行の廃炉作業への取り組みが紹介されており、改めて、地震の脅威と原子力の安全性が問われる研修となった。

